

正味財産増減計算書総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,911,392]	[16,466,295]	24,377,687
② 特定資産運用益	[7,371,201]	[562]	7,371,763
③ 事業収益	[2,708,235,109]	[685,581,769]	3,393,816,878
労働安定基金収益	2,661,182,869		2,661,182,869
技能研修受講料収益	47,052,240		47,052,240
港湾労働法付加金収益		685,581,769	685,581,769
④ 受取補助金等	[1,072,667]	[267,825,774]	268,898,441
受取補助金等	1,072,667		1,072,667
受取交付金		197,147,249	197,147,249
受取国庫委託費		70,678,525	70,678,525
⑤ 雑収益	[1,582,127]	[140,947]	1,723,074
受取利息	229,726	58,754	288,480
港湾労働者年金等給付引当資産評価益	303,300		303,300
雑収益	1,049,101	82,193	1,131,294
経常収益計	2,726,172,496	970,015,347	3,696,187,843
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,331,778,799]	[908,091,616]	3,239,870,415
港湾労働者年金助成金	1,849,118,333		1,849,118,333
職業訓練助成金	18,959,000		18,959,000
技能研修運営費	370,847,000		370,847,000
計算等事務委託費	85,448,292		85,448,292
送金手数料	7,406,174		7,406,174
研修会等費		2,671,603	2,671,603
派遣事業費		164,138,631	164,138,631
事業主支援業務費		650,000,000	650,000,000
国庫委託費		70,678,525	70,678,525
その他の業務費		20,602,857	20,602,857
② 管理費	[184,445,403]	[67,270,360]	251,715,763
給料手当	60,058,306	23,414,681	83,472,987
賞与引当金繰入額	6,440,998	1,200,000	7,640,998
退職給付費用	5,437,383	1,425,583	6,862,966
福利厚生費	11,787,757	8,715,487	20,503,244
会議費	523,993	1,794,600	2,318,593
旅費交通費	44,852,633	1,749,740	46,602,373
通信運搬費	976,542	1,220,570	2,197,112
減価償却費	981,077	3,616,944	4,598,021
調査広報費	4,069,226	4,150,704	8,219,930
図書費	286,838		286,838
消耗品費	812,261	2,584,182	3,396,443
保守費	8,923,635	1,188,986	10,112,621
印刷製本費	227,631	242,359	469,990
光熱水料費	924,391	324,788	1,249,179
賃借料	21,928,056	8,100,568	30,028,624
保険料	40,035	15,785	55,820
手数料	12,799,645	2,150,315	14,949,960
租税公課	2,872,680	5,133,456	8,006,136
研修センター減価償却引当資産評価損	386,000		386,000
雑 費	116,316	241,612	357,928
経常費用計	2,516,224,202	975,361,976	3,491,586,178
当期経常増減額	209,948,294	△ 5,346,629	204,601,665

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 引当金戻入益	[0]	[1,677,000]	1,677,000
職員退職給付引当金戻入益		1,677,000	1,677,000
経常外収益計	0	1,677,000	1,677,000
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	[7,839,096]	[0]	7,839,096
建物除却損	6,032,221		6,032,221
構築物除却損	1,291,150		1,291,150
車両運搬具除却損	5		5
機械装置除却損	508,806		508,806
什器備品除却損	6,914		6,914
② 港湾労働者年金等給付引当金	[141,849,429]	[0]	141,849,429
港湾労働者年金等給付引当金繰入額	141,849,429		141,849,429
③ 前期損益修正損	[26,679,354]	[0]	26,679,354
前期損益修正損	26,679,354		26,679,354
経常外費用計	176,367,879	0	176,367,879
当期経常外増減額	△ 176,367,879	1,677,000	△ 174,690,879
当期一般正味財産増減額	33,580,415	△ 3,669,629	29,910,786
一般正味財産期首残高	3,915,945,071	875,301,779	4,791,246,850
一般正味財産期末残高	3,949,525,486	871,632,150	4,821,157,636
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	[6,860,813]	[0]	6,860,813
受取国庫補助金	6,860,813	0	6,860,813
② 一般正味財産への振替額	[△ 1,072,667]	[0]	△ 1,072,667
一般正味財産への振替額	△ 1,072,667	0	△ 1,072,667
当期指定正味財産増減額	5,788,146	0	5,788,146
指定正味財産期首残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
指定正味財産期末残高	505,788,146	1,000,000,000	1,505,788,146
III 正味財産期末残高	4,455,313,632	1,871,632,150	6,326,945,782

一般会計正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,911,392]	[7,941,598]	△ 30,206
② 特定資産運用益	[7,371,201]	[7,789,275]	△ 418,074
③ 事業収益	[2,708,235,109]	[2,673,496,845]	34,738,264
労働安定基金収益	2,661,182,869	2,625,856,688	35,326,181
技能研修受講料収益	47,052,240	47,640,157	△ 587,917
④ 受取補助金等	[1,072,667]	[40,584,764]	△ 39,512,097
受取補助金等	1,072,667	40,584,764	△ 39,512,097
⑤ 雑収益	[1,582,127]	[10,228,752]	△ 8,646,625
受取利息	229,726	235,574	△ 5,848
研修センター減価償却引当資産評価益	0	5,335,700	△ 5,335,700
港湾労働者年金等給付引当資産評価益	303,300	3,186,700	△ 2,883,400
雑収益	1,049,101	1,470,778	△ 421,677
経常収益計	2,726,172,496	2,740,041,234	△ 13,868,738
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,331,778,799]	[2,315,438,430]	16,340,369
港湾労働者年金助成金	1,849,118,333	1,928,995,000	△ 79,876,667
職業訓練助成金	18,959,000	18,863,000	96,000
技能研修運営費	370,847,000	284,595,369	86,251,631
計算等事務委託費	85,448,292	75,251,793	10,196,499
送金手数料	7,406,174	7,733,268	△ 327,094
② 管理費	[184,445,403]	[171,516,628]	12,928,775
給料手当	60,058,306	67,589,153	△ 7,530,847
賞与引当金繰入額	6,440,998	5,180,213	1,260,785
退職給付費用	5,437,383	6,351,296	△ 913,913
福利厚生費	11,787,757	11,378,033	409,724
会議費	523,993	1,449,432	△ 925,439
旅費交通費	44,852,633	31,229,287	13,623,346
通信運搬費	976,542	1,006,446	△ 29,904
減価償却費	981,077	445,195	535,882
調査広報費	4,069,226	5,403,409	△ 1,334,183
図書費	286,838	277,467	9,371
消耗品費	812,261	2,195,035	△ 1,382,774
保守費	8,923,635	1,059,160	7,864,475
印刷製本費	227,631	126,305	101,326
光熱水料費	924,391	868,129	56,262
賃借料	21,928,056	22,053,463	△ 125,407
保険料	40,035	32,730	7,305
手数料	12,799,645	10,089,345	2,710,300
租税公課	2,872,680	4,422,550	△ 1,549,870
研修センター減価償却引当資産評価損	386,000	0	386,000
雑費	116,316	359,980	△ 243,664
経常費用計	2,516,224,202	2,486,955,058	29,269,144
当期経常増減額	209,948,294	253,086,176	△ 43,137,882
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	[0]	[1,190,929]	△ 1,190,929
車両運搬具売却益	0	1,190,929	△ 1,190,929
経常外収益計	0	1,190,929	△ 1,190,929
(2) 経常外費用			
① 特定資産売却損	[0]	[585,002]	△ 585,002
車両運搬具売却損	0	585,002	△ 585,002
② 固定資産除却損	[7,839,096]	[1,639,485]	6,199,611
建物除却損	6,032,221	0	6,032,221
構築物除却損	1,291,150	1,506,062	△ 214,912
車両運搬具除却損	5	70,004	△ 69,999
機械装置除却損	508,806	0	508,806
什器備品除却損	6,914	63,419	△ 56,505
③ 港湾労働者年金等給付引当金	[141,849,429]	[0]	141,849,429
港湾労働者年金等給付引当金繰入額	141,849,429	0	141,849,429
④ 前期損益修正損	[26,679,354]	[0]	26,679,354
前期損益修正損	26,679,354	0	26,679,354
経常外費用計	176,367,879	2,224,487	174,143,392
当期経常外増減額	△ 176,367,879	△ 1,033,558	△ 175,334,321
当期一般正味財産増減額	33,580,415	252,052,618	△ 218,472,203
一般正味財産期首残高	3,915,945,071	3,663,892,453	252,052,618
一般正味財産期末残高	3,949,525,486	3,915,945,071	33,580,415
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	[6,860,813]	[0]	6,860,813
受取国庫補助金	6,860,813	0	6,860,813
② 一般正味財産への振替額	[△ 1,072,667]	[0]	△ 1,072,667
一般正味財産への振替額	△ 1,072,667	0	△ 1,072,667
当期指定正味財産増減額	5,788,146	0	5,788,146
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	505,788,146	500,000,000	5,788,146
III 正味財産期末残高	4,455,313,632	4,415,945,071	39,368,561

一般会計財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……………個別法による原価法を採用している。但し、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

その他の有価証券

時価のあるもの……………決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は個別法により算定）によっている。

時価のないもの……………個別法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産……………定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……………役員及び職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額のうち、当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金……………役員及び職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

港湾労働者年金等給付引当金… 経済動向の変化等に伴い生じる不測の事態に備え、港湾労働者年金の支給原資の不足額に充当するため、計上している。
港湾労働者年金の給付に備え、当事業年度末における年金給付債務の見込額に基づき、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しております。
数理計算上の差異は、主にその発生時の登録者の平均残存受給期間内の一定の年数(7年)による定額法により、翌事業年度から費用処理することとしております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等……………税込方式によっている。

2 会計方針の変更

前期まで一般正味財産に計上していた受取国庫補助金の会計処理に関して、今期より寄付者の意思をより明確にするために指定正味財産に計上する方法に変更した。

この結果、前事業年度と同一の処理をした場合と比較して、正味財産増減計算書の一般正味財産増減の部の受取補助金等の額は、5,788,146円減額し、当期経常増減額及び当期一般正味財産増減額は同額減額している。また、指定正味財産増減額は、5,788,146円増額している。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	500,000,000			500,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	85,963,376	4,616,424		90,579,800
研修センター減価償却引当資産	1,600,000,000			1,600,000,000
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000			2,200,000,000
小 計	3,885,963,376	4,616,424	0	3,890,579,800
合 計	4,385,963,376	4,616,424	0	4,390,579,800

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	(500,000,000)		
小 計	500,000,000	(500,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	90,579,800			(90,579,800)
研修センター減価償却引当資産	1,600,000,000		(1,600,000,000)	
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000			(2,200,000,000)
小 計	3,890,579,800		(1,600,000,000)	(2,290,579,800)
合 計	4,390,579,800	(500,000,000)	(1,600,000,000)	(2,290,579,800)

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物	1,074,000,144	556,958,069	517,042,075
構 築 物	541,563,067	272,377,870	269,185,197
車 両 運 搬 具	447,331,466	248,108,244	199,223,222
機 械 装 置	859,883,950	793,945,500	65,938,450
什 器 備 品	54,009,356	45,262,440	8,746,916
ソ フ ト ウ ェ ア	23,996,070	7,684,281	16,311,789
合 計	3,000,784,053	1,924,336,404	1,076,447,649

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	226,090,403	0	226,090,403
合 計	226,090,403	0	226,090,403

7 保証債務等の偶発債務

港運労使が締結した協定に基づき、平成12年5月から年金額を減額したことを不服として、受給者の一部から提訴された年金請求事件3件が係争中である。

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	491,067,812	540,500,000	49,432,188
合 計	491,067,812	540,500,000	49,432,188

9 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残額は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 職業能力開発校 設備整備費等補助金	厚生労働省	0	6,860,813	6,860,813	0	
合 計		0	6,860,813	6,860,813	0	指定正味財産

10 関連当事者との取引内容

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	11,265,402	12,154,498	11,265,402		12,154,498
退職給付引当金	85,963,376	10,478,800	5,862,376		90,579,800
港湾労働者年金等給付引当金	2,200,000,000	141,849,429			2,341,849,429

特別会計正味財産増減計算書総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[16,466,295]	[16,484,759]	[△ 18,464]
②特定資産運用益	[562]	[631]	[△ 69]
③事業収益	[685,581,769]	[681,097,025]	[4,484,744]
港湾労働法関係付加金収益	685,581,769	681,097,025	4,484,744
④受取補助金等	[267,825,774]	[280,783,679]	[12,957,905]
受取交付金	197,147,249	204,865,511	△ 7,718,262
受取国庫委託費	70,678,525	75,918,168	△ 5,239,643
⑤雑収益	[140,947]	[144,568]	[△ 3,621]
受取利息	58,754	64,433	5,679
雑収益	82,193	80,135	2,058
経常収益計	970,015,347	978,510,662	△ 8,495,315
(2) 経常費用			
①事業費	[908,091,616]	[920,835,552]	[△ 12,743,936]
研修会等費	2,671,603	3,114,975	△ 443,372
派遣事業費	164,138,631	171,329,233	△ 7,190,602
事業主支援業務費	650,000,000	650,000,000	0
国庫委託費	70,678,525	75,918,168	△ 5,239,643
その他の業務費	20,602,857	20,473,176	129,681
②管理費	[67,270,360]	[61,061,589]	[6,208,771]
給料手当	23,414,681	17,382,450	6,032,231
賞与引当金繰入額	1,200,000	1,090,200	109,800
退職給付費用	1,425,583	2,081,794	△ 656,211
福利厚生費	8,715,487	7,384,395	1,331,092
会議費	1,794,600	2,470,578	△ 675,978
旅費交通費	1,749,740	1,139,775	609,965
通信運搬費	1,220,570	1,235,025	△ 14,455
減価償却費	3,616,944	3,960,980	△ 344,036
調査広報費	4,150,704	3,595,062	555,642
消耗品費	2,584,182	4,413,700	△ 1,829,518
保守費	1,188,986	1,366,644	△ 177,658
印刷製本費	242,359	124,067	118,292
光熱水料費	324,788	305,028	19,760
賃借料	8,100,568	8,151,234	△ 50,666
諸謝金		74,890	△ 74,890
保険料	15,785	9,200	6,585
手数料	2,150,315	4,376,828	△ 2,226,513
租税公課	5,133,456	1,691,088	3,442,368
雑費	241,612	208,651	32,961
経常費用計	975,361,976	981,897,141	△ 6,535,165
当期経常増減額	△ 5,346,629	△ 3,386,479	△ 1,960,150
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①引当金戻入益	[1,677,000]		[1,677,000]
職員退職給付引当金戻入益	1,677,000		1,677,000
経常外収益計	1,677,000	0	1,677,000
(2) 経常外費用			
①固定資産除却損		[5]	[△ 5]
什器備品除却損		5	△ 5
経常外費用計	0	5	△ 5
当期経常外増減額	1,677,000	△ 5	1,677,005
当期一般正味財産増減額	△ 3,669,629	△ 3,386,484	△ 283,145
一般正味財産期首残高	875,301,779	878,688,263	△ 3,386,484
一般正味財産期末残高	871,632,150	875,301,779	△ 3,669,629
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,871,632,150	1,875,301,779	△ 3,669,629

特別会計財務諸表に対する注記

(特別会計)

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権 …… 個別法による原価法を採用している。但し、債権金額と異なる価額で取得した債権で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産…………… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金…………… 職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額の当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金 …… 職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等…………… 税込み方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,698,597,053	377,786	0	1,698,974,839
定期預金	1,402,947	0	377,786	1,025,161
合計	1,700,000,000	377,786	377,786	1,700,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)
基本財産			
投資有価証券	1,698,974,839	(999,525,585)	(699,449,254)
定期預金	1,025,161	(474,415)	(550,746)
合計	1,700,000,000	1,000,000,000	700,000,000

4 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	30,721,375	0	4,670,375	26,051,000
減価償却引当資産	0	91,644	0	91,644
合計	30,721,375	91,644	4,670,375	26,142,644

5 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	26,051,000			(26,051,000)
減価償却引当資産	91,644		(91,644)	
合計	26,142,644		91,644	26,051,000

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,637,828	1,498,812	139,016
車両運搬具	12,363,274	12,114,841	248,433
什器備品	2,820,170	2,276,977	543,193
ソフトウェア	64,714,230	51,112,238	13,601,992
合計	81,535,502	67,002,868	14,532,634

7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	74,459,257	0	74,459,257
合計	74,459,257	0	74,459,257

- 8 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。
 (単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
株式会社銀行劣後債	500,000,000	512,350,000	12,350,000
オリックス株式会社債	99,950,577	105,150,000	5,199,423
第88回 利付国債	199,980,356	201,726,600	1,746,244
第93回 利付国債	499,468,898	505,969,000	6,500,102
第93回 利付国債	399,575,008	404,775,200	5,200,192
合計	1,698,974,839	1,729,970,800	30,995,961

- 9 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金等						
交付金	厚生労働省	0	197,147,249	197,147,249	0	
国庫委託費	厚生労働省	0	70,678,525	70,678,525	0	
合計		0	267,825,774	267,825,774	0	一般正味財産

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2「基本財産の増減額及びその残高」及び注記4「特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している。

2. 引当金の明細

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,859,980	7,562,502	6,859,980		7,562,502
退職給付引当金	30,721,375	8,296,900	12,967,275		26,051,000
合計	30,721,375	8,296,900	12,967,275		26,051,000